

運営法人：生活クラブ協同組合

事業所名：生活クラブあのねのお家

放課後等デイサービス

児童発達支援管理責任者を募集します。

給料：初任給（手当含む目安）

障害福祉サービス、障害児（者）支援、児童福祉事業、特別支援教育、教育関係等に従事した経験年数を考慮します。

270,000円～400,000円

● 児童発達支援管理責任者研修を修了した方（未経験可）

正社員

小学生～高校生を対象とした、主に発達障がいや知的障がいなどのお子さまの発達を支援するお仕事です。

私たちは、子育てを応援する仲間でありたいと思っています。

子どもたちひとり一人の成長発達に向き合っていると、大きなやりがいに繋がります。

* お子様の送迎がありますので運転できる方歓迎

■ 原則残業なし

■ 年間休日 120 日、週休 2 日制（日曜日・祝日・生協が定める日（概ね土曜日）、年末年始 12/29～1/3 休み。営業日（月）～（金）、年 3 回土曜日の外出イベントがあります。公休日は別日に振替取得します。

■（月）～（金）勤務

■ 短時間正職員制度あり

■ 資格取得支援補助制度あり

■ 働きやすさ：

年間休日 120 日、原則残業なしのため、ワーク・ライフバランスがとりやすくプライベートを充実させながらお仕事に取り組むことができます。

年に 1～2 回程度は土曜に研修やミーティングを行い、業務に関する知識を増やしていきます。

募集要項

●正社員・児童発達支援管理責任者

仕事内容

小学生～高校生を対象とした、主に発達障がいや知的障がいなどのお子さまの発達を支援するお仕事です。

送迎車の運転をお願いすることがあります。

募集対象となる方の資格

児童発達支援管理責任者

●児童発達支援管理責任者研修を修了した方（未経験可）

*送迎車の運転ができる方歓迎

詳しくはお問い合わせください。

● 主な仕事内容：

- ・個別支援計画の作成（アセスメント・モニタリング）
- ・保護者対応・連絡・相談
- ・児童の出欠管理
- ・スタッフのシフト管理
- ・運行計画
- *運転や添乗をお願いすることがあります。
- ・その他：業務上必要な事務作業、PC・TB操作（ワード・エクセル等の打ち込み）

● 勤務地：

生活クラブあのねのお家

住所：稲城市東長沼 1741-1

● 受動喫煙対策：

敷地内全面禁煙

● 転勤：

無

● 勤務時間：

9：00～18：00（所定労働時間：8時間0分）

休憩時間：60分

時間外労働有無：無

<その他就業時間補足>

週40時間勤務

*原則 残業なし

- **休日：**

年間休日 120 日、週休 2 日制（日曜日・祝日・生協が定める日（概ね土曜日）、年末年始 12/29～1/3 休み。営業日（月）～（金）、年 3 回土曜日の外出イベントがあります。公休日は別日に振替取得します。

育児休業・介護休業

特別休暇（結婚・忌引・災害・出産・つわり・生理）

- **有給休暇：**

年間有給休暇 10 日～20 日（下限日数は、入社半年経過後の付与日数となります。）

- **通勤条件・支給額：**

全額支給

公共交通機関を基本とし 1 ヶ月単位で支給しています。

* 車で通勤する方は公共交通機関の交通費を支給額とします。私有車両通勤許可申請書を生活クラブに提出し、駐車場は個人で確保してください。

* 自転車、バイク通勤は可。あのねのお家から直線で 1 km 以上の方は 1 日 150 円支給。

- **加入保険：**

健康・厚生・労災・雇用

- **給料：**

初任給（手当含む目安）

障害福祉サービス、障害児（者）支援、児童福祉事業、特別支援教育、教育関係等に
従事した経験年数を考慮します。

270,000 円～400,000 円

- **賞与：**

年 1 回（3 月）2020 年度実績 1 ヶ月以上。事業実績を踏まえて支給します。

- **昇給：**

年 1 回 1,200 円～4,500 円／月

- **運転手当は別途支給：**

1 時間 200 円

- **試用期間：**

3 ヶ月（同条件）

- **教育制度・資格補助補足：**

0JT、年 2 回程度各個人のスキルアップに必要な研修
資格取得支援補助制度あり

採用試験

- **応募：**

メールまたはお電話でご連絡ください。

面接日程を調整します。

①氏名 ②連絡先 ③資格

* 事前に施設の見学を希望される方は施設長までご連絡ください。お気軽にお越しください。

● **書類提出と方法：**

履歴書・職務経歴書・資格証の写し・実務経歴証明書（児発管以前の経験 5 年以上のもの。後日 提出の場合は事前にご相談ください。))

児童発達支援管理責任者研修修了証

健康診断書（採用通知後の提出）

施設見学時または面接時

事前に WEB で送っていただいても構いません。

● **選考場所：**

① 1 次面接：生活クラブあのねのお家

② 2 次面接：生活クラブあ生活協同組合・東京

東京都世田谷区宮坂 3-13-13 生活クラブ館 3 階

作文（事前にお知らせします）

会社概要：生活クラブ生活協同組合

事業概要

■ 事業内容：

沿革：1968 年設立、1989 年もう一つのノーベル賞「ライトライブリフッド・アワード(R L A)」名誉賞受賞、1995 年国連の友「50 のコミュニティ賞」受賞、2007 年生活クラブ保育園ぽむ開設、2009 年子育て広場ぶらんこ開設、2011 年福祉タクシー事業開始、2015 年家計相談支援事業(生活困窮者自立支援制度)開始、2018 年サービス付き高齢者向け住宅開設

特色：生活クラブは取扱商品の生産から廃棄まですべての過程において、添加物や残留農薬をできる限り減らすなど安全性にこだわっている生協です。食材の 95%をプライベートブランドとして開発し組合員に供給しています。

地域福祉への取り組みとしては、組合員の高齢化が進むなか、組合員の起業を支援する形で在宅支援事業、また社会福祉法人を設立し高齢者施設事業を開始しました。その後、子どもと親の支援、食育、多世代との交流、地域社会づくりを方針に、生協本体の事業として保育園や子育てひろばの事業に取り組んでいます。

所在地 〒156-0051 東京都世田谷区宮坂 3 丁目 13-13

設立 1968 年 12 月

従業員数 400 名

上場市場名 非上場

資本金 10 百万円

「あのねのお家」放課後等デイサービスについて

通って来る子どもたちの発達の様子は多種多様です。

私たちは、子どもが育っていく過程で安心して楽しく過ごせる場(居場所)があって、多様な仲間との関係性を育む経験が何よりも大切だと考えています。

あのねのお家は、子どもたちにとって安心して自分らしく育っていける場でありたいと思っています。

■「あのねのお家」というネーミング

コミュニケーションに課題をもつことの多い子どもたちや保護者の方々に「あのね・・・」と気軽につぶやいてもらえる私たちでありたいというメンバーの願いを込めました。

■子どもたちの笑顔が私たちのやりがいです。

周囲の人が課題と感じる行動はその子にとっての困りごと。子どもの困り感(特別なニーズ)やその表現方法は経験や成長・発達とともに変化してきます。その時々でどんな配慮を求めているのか、私たち自身が想像力を発揮しながら、子ども自身に学ぶしかありません。“楽しい!あそび“が子どもの脳を発達させる・・・を基本に日々の活動はスタッフも一緒に楽しみます。

■お子さまへの支援で大切にしていることは「生きる意欲につながる支援」

本人が将来の生活スタイルを見つけて、その子なりの人生を楽しむために、必要なスキルを身につけていくには応援してくれる仲間や見守る大人の存在が必要です。課題の克服にばかり目を向けていると自信を失ってしまいます。ひとり一人の興味・関心、強みを生かして、遊びや活動を生き活きと楽しみながら、スモールステップで成功体験を重ねて自己肯定感を高めていくことがもっと大事だと考えています。

◆あのねのお家の基本理念

- 子ども本人の意思を尊重し、地域社会の一員として生活することや同年代の子どもとともに、安心して育つことができるために必要な配慮(合理的配慮)を提供します。
- 安定した生活リズムを重ねながら「楽しい遊び」を通じて、さまざまな機能の発達を促します。
- ひとり一人の子どもが自発的・意欲的に、時にはじっくり遊びこめる環境を整え、「今ある力」の定着と豊かな感性・創造性を育てます。
- 多様な子どもたちが同じ時間・空間を共有する仲間として、お互いを尊重する心を育みます。
- 家族が安心して相談できる場を目指します。

◆『生活クラブ あのねのお家』6本の柱

●仲間とふれあう

一人ひとりが違いを認めあい、『今ある力』を発揮して、たすけあう関係を育みます。

●ほっとリラックス

安心して思いっきり遊ぶ時間、自分らしくゆっくり過ごせる時間を大切にします。

●地域とふれあう

さまざまな人とつながる機会を創り出し、地域の中にナチュラルサポートの輪をひろげます。

●表現する喜び

音楽療法や創作活動プログラムのなかで、一人ひとりの感受性を大切にしながら、表現する喜びを体験していきます。

●自然とふれあう

太陽・土・木・草・水・・・自然の中で季節の変化を楽しみ、協力する経験を大切にします。

●食べてつながる仲間づくり

「食べることは生きること」年齢や障がいにかかわらず、準備やお片付けなどの小さな役割を担うことで、誰もが一緒にできる活動として、おやつ時間を大切にしています。からだにやさしい食（おやつなど）を通して、一緒に食べることを楽しみます。